

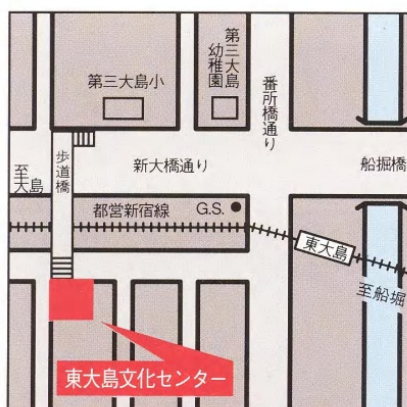
平成22年12月例会 日時 12月19日(日) 13~17時

江東区東大島文化センター3F 第1研修室

江東区大島8-33-9 TEL.03-3681-6331

都営新宿線 東大島駅下車 徒歩5分

### 交通案内



- 都営新宿線東大島駅  
下車徒歩5分
- 都バス  
(亀24)亀戸駅~葛西橋  
(亀24)東大島駅~浅草寿町  
第三大島小学校下車徒歩3分  
(門21)東大島駅~門前仲町  
(東陽町駅)  
東大島駅入口下車徒歩5分

※以前よりお渡している  
ネームプレートをお持ち  
の方は今後の例会でも  
使用していきたいと思  
いますので、ぜひご持参  
いただきますようお願い  
します。

コレクションテーマ： 懐中時計

※その他の展示品も随時募集しています。奮ってご参加ください。

講演： 針の青焼きとレストアの話 福井 隆之 さん  
和時計の修理について 山崎 伸 さん

※内容は都合により変更になる場合があります。

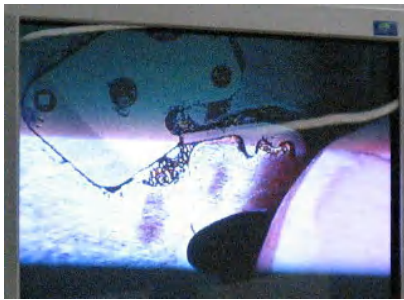
## 11月例会報告



11月の例会は28日、江東区商工情報センターで開催され、47名の参加となりました。  
尚、桑名名誉会員よりお茶菓子、(株)富士精工さんよりリングをいただきました。  
有り難うございました。

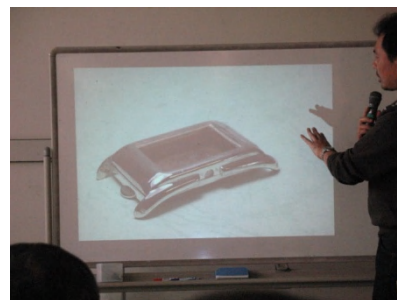
また、山口顧問より時計収納ケースを、大杉副会長より超音波洗浄機用フックをご寄付頂きました。  
重ねて御礼申し上げます。

## 加藤名誉会長より 裏押さえの新規作成



時計を修理していると、裏押さえの細くなっている部分が折れてしまっている事がありますが、交換用の部品が無い場合には新規での作成になります。今回はその実演をして貰いました。材料となる鋼材に見本をハンダ付けし糸のこで切り出していきますが、工作物に負担を掛けることなく効率良く作成していく為の手順を詳しく解説して頂きました。また、焼き入れ、焼き戻しの工程では、解説と共に各工程を手際よく進められ、その技術をまじかに見る事が出来、大変勉強になりました。

## 吉岡 武さんより ロウ付けについて



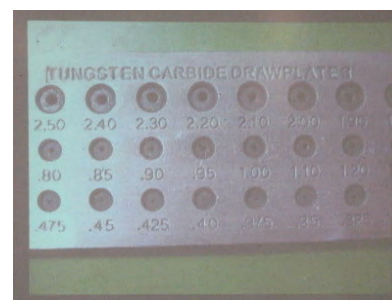
まず、ロウ付け作業の基本事項及び注意点などの説明を頂き、次に、最近修理されたシルバーの時計ケースを例にとって作業の工程を写真と共に詳しく解説して頂きました。

このケースはかなり傷んでいたという事で、リューズ位置の大きな割れや、ケースサイドのいびつになった穴には、あえてその部分より大きな切り込みや穴をあけ、それぞれに地金の板やパイプを差し込みロウ付けされたそうです。

その他にも裏ぶたをはめ込む部分に丸線を取り付ける修理のお話もあり、各工程について丁寧に説明して下さいました。

また、修理で使用したパイプや丸線を線引きダイスで作成されたそうで、その作成方法には会員の方々も大変興味をもたれていました。

線引き作業は機会があれば例会でも実演して頂けるかもしれないという事なので、今後に期待されます。



## 上瀬 会長より 研修旅行記

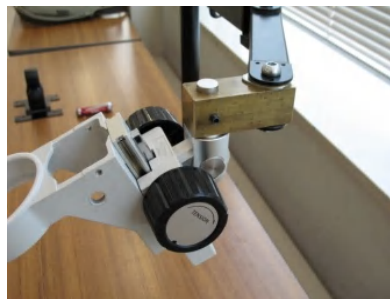


11月7日～8日に古典時計協会と日本時計研究会の合同研修旅行がありました。

上瀬会長より、登内時計記念博物館とシチズン平和時計株式会社を訪問された際のお話がありました。沢山の時計コレクションや自動化された時計の製造現場を見学する事が出来、見応えのある楽しい旅行となったそうです。

## コレクションテーマ 時計工具

今回のテーマは時計工具という事で、自作の工具や貴重な資料など沢山のコレクションが集まりました。有り難うございます。



## 展示品紹介

お持ち頂きました皆様、有り難うございました。



## 佐々木 副会長より 総体振り振子の周期について



前回の例会で、総体振り振子の時間調整について、下の振玉を上  
に持ってくると周期が大きくなる事に対し、色々と話が交わされまし  
た。

感覚的には、全体がゆっくり動けば上部にある機械自体もその動き  
に制御され遅れが生じる事をイメージ出来ますが、なぜそのような  
動きになるのかという点を今回、佐々木副会長に資料と共にその理  
論の説明をして頂きました。

## 今後の日程

1/10 (月・祝日) 新年会・山の上ホテル 11:30 開場  
12:00 開始

※詳細は同封の案内をご覧ください

当会のホームページアドレスは、<http://www.nawcc108.org/>です